

# CASBEE<sup>®</sup>新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版  
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

## 1. 建物概要

建物名称	(仮称)MID堀之内新築計画【駐車場棟】	
建設地	新潟県新潟市中央区堀之内南3丁目322-1他32筆	
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	
建物用途	工場	
竣工年	2019年12月 予定	
敷地面積	9,678.36 m <sup>2</sup>	
建築面積	3,040.61 m <sup>2</sup>	
延床面積	15,202.89 m <sup>2</sup>	
階数	地上5F	
構造	S造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2019年2月26日	

## 2. CASBEE新潟の評価結果

	B-	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{30.6}{36.5} = 0.8$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★		

## 3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	3.0		バリアフリー計画	Q2.1.1.3 -
			維持管理	Q2.1.3 -
			設備の更新性	Q2.3.3 3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	3.3		耐震・免震・制震・制振	Q2.2.1 3.0
			信頼性	Q2.2.4 3.5
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1 3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.0		建物外皮の熱負荷抑制	LR1.1 -
			自然エネルギー利用	LR1.2 3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	2.0		節水	LR2.1.1 -
			躯体材料以外でのリサイクル材の使用	LR2.2.4 1.0
			部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.2.6 3.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	1.5		生物環境の保全と創出	Q3.1 1.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2 2.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	2.0		まちなみ・景観への配慮	Q3.2 2.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1 2.0

## 4. 新潟市の重点項目の配慮事項

特に無し
------

# CASBEE<sup>®</sup>新潟

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)MID堀之内新築計画【駐車場棟】	階数	地上5F
建設地	新潟県新潟市中央区堀之内南3丁目322-1他32筆	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	0人
地域区分	5地域	年間使用時間	0時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年12月 予定	評価の実施日	2019年2月26日
敷地面積	9,678 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社東京オデッセイ 横山
建築面積	3,041 m <sup>2</sup>	確認日	2019年2月28日
延床面積	15,203 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社東京オデッセイ 横山



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.8** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.2**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.7

**LR のスコア = 3.5**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	LED照明を採用し、省エネルギー性に配慮した。	その他 特に無し
Q1 室内環境	評価対象外	Q2 サービス性能 壁長さ比率を低く抑えることで、将来のプランニング変更など、フレキシブルに対応できる計画とした。
Q3 室外環境(敷地内)	特に無し	
LR1 エネルギー	LED照明を採用することで、BEImが基準値を満たしている。	LR2 資源・マテリアル フロン・ハロンなどを含んだ部材を採用していない。
LR3 敷地外環境	燃焼機器を設けないことで、地球温暖化に寄与した計画とした。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される